



2021年5月10日
東日本旅客鉄道株式会社

ボッチャ日本代表へ本番同様の練習環境を提供します

東日本旅客鉄道株式会社(代表取締役社長：深澤祐二、以下「JR東日本」)はESG経営を実践し、事業を通じて社会課題の解決やSDGs※1の達成に取り組んでいます。

このたび、JR東日本総合研修センター(福島県白河市)において、一般社団法人日本ボッチャ協会※2ボッチャ日本代表に対して、5月7日(金)～16日(日)の期間※3に、国際大会で使用するボッチャコートを設置し、本番と同様の練習環境を提供しています。また、5月16日からボッチャ日本代表の応援企画も実施します。

引き続き、障がいの有無や年齢等にかかわらず楽しむことが可能なボッチャを通じ、共生社会の実現と地域社会への貢献に努めてまいります。

※1 SDGs：国連サミットで採択された2016年から2030年までの国際目標のことで、持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成されています。

※2 JR東日本は、2020年8月1日より一般社団法人日本ボッチャ協会のゴールドパートナーとなっています。

※3 6月にも実施予定です(詳細決まり次第、改めてお知らせします)。

1. 合宿期間 2021年5月7日(金)～5月16日(日)(見学等はできません。)
2. 参加選手 中村拓海選手、藤井友里子選手、廣瀬隆喜選手、杉村英孝選手(予定)
3. 練習環境の提供

JR東日本総合研修センター(福島県白河市)内に、国際大会で使用するボッチャコート(2面)を配備し、練習環境を提供します。



※写真は2020年9月20日(日)～9月22日(火)の合宿時のものです。

4. 応援企画の実施

(1) サポーター養成講習会の実施

5月16日に、ボッチャ協会が実施するサポーター養成講習会を実施します。今回は、初めて地域の皆さまをお招きし、ボッチャの魅力を体験します。(一般募集は行いません。)

(2) ボッチャ日本代表への応援横断幕の作成

5月16日以降、JR東日本総合研修センターを利用するJR東日本グループの社員により、ボッチャ日本代表への応援メッセージを記載した横断幕を作成し、寄贈します。

5. ボッチャについて

ボッチャは、ヨーロッパで生まれた重度脳性麻痺者もしくは同程度の四肢重度機能障害者のために考案されたスポーツであり、東京2020パラリンピックの正式な競技です。ジャックボール（目標球）と呼ばれる白いボールに、赤・青のそれぞれ6球ずつのボールを投げたり、転がしたり、他のボールに当たったりして、いかに近づけるかを競います。